かわら版　事務所通信　VOL-163（2023/09）
編集責任者：佐藤寿志　0100

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。皆さんも求人で苦労されていると思いますが・・文部科学省が衝撃的なデータを公表しています。

直近 10 年間で義務教育段階の児童生徒数は 1 割減少しました・・。一方、そのような少子化の中、特別支援教育を受ける児童生徒数は倍増しています。

	H24年	R4年	増減
全生徒	1,040.0万	952.0万	↘ 88.0万
内（要支援者）	30.2万	59.9万	↗ 29.7万
内（その他）	1,009.8万	892.1万	↘ 117.7万

特別支援教育を受ける生徒さんが増えた理由は従来からの「いわゆる障害者」に加え、学習障害、注意欠乏多動性障害をお持ちのお子さんが増えている事が原因なのでしょう・・。

最低賃金の増加、仕入・資材の高騰、等々の経営課題が山積みの中、間違いなく人を採用する事が困難な時代がやって来ます。

そう考えると・・企業が生き残るためには、少人数で出来るような仕事の工夫、高給を用意して人材獲得競争に勝ち残るのか・・人材氷河期に向けた準備が必要です。

「名参謀」

先月は WBC で活躍された栗山監督の著書を紹介しました。今月は続編として栗山監督の右腕として注目された白井コーチの著書、**「メンタル・コーチング（潜在能力を最高に発揮させるたったひとつの方法）、白井一幸著、PHP 研究所」**からコーチングのヒントを学んで見ましょう。

栗山監督は日ハム監督に就任し 1 年目にいきなりリーグ優勝を果たします。しかし、翌年は思うようにいかず・・最下位と低迷します。苦悩の栗山監督が白井氏に「チーム立て直しに力を貸してもらえないだろうか？」と懇願し、名コンビが誕生しました。

栗山、白井コンビは退任までにリーグ優勝 2 回、日本一 1 回を達成するなど日ハムは再生しました。その延長線上に今回の WBC の優勝があるのでしょう・・。

「失敗していい」という励ましは逆効果

白井氏は、イギリスの諺に「馬を川に連れていくことはできるが、馬に水を飲ませる事はできない」とある。選手に練習すれとハッパをかけても「結局は本人の選択ひとつ、さらにいえば、やる気ひとつで事態は一変する」と言います。

また、試合の最中に「打たれてもいいから思いっきり投げろ」や「三振してもいいから思いっきり振ってこい」などという励ましの言葉を言う監督やコーチがいるが、それではなかなか選手の能力は伸ばしにくいと白井氏は考えています。

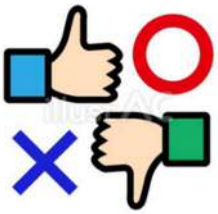
「絶対勝つんだ」という強い信念をもって臨んだ試合で、勝利できたのなら「喜びもひと

佐藤寿志税理士事務所　006-0023　札幌市手稲区手稲本町 3 条 1 丁目 1 番 1 号
TEL (011) 699-5925

しお」、そうした信念をもちながら負けたのなら「これほど悔しい事」もない。そうした経験がつみ重なり人は成長します。

厳しくとも「正しい評価」が選手を奮起させる

「私たちの球団は、他球団から戦力外通知を言い渡されたような者や、二軍から上がってきた者が、なぜか力を伸ばして活躍している球団（ヒルマン監督当時）というイメージでとらえられるが、こうしたことは偶然におきているわけではない」と白井氏は語ります。



それは、もともと実力があったのに正当に評価されていなかった選手が日ハムに移籍して評価されたと感じたことにより本来の実力を発揮しただけです。

これは、私たち経営者にはなかなか耳の痛い話ですね・・。経営者が「うちの社員は○○」とぶつぶつと不満を言うのではなく、社員さんを評価（貴方に期待）している事を伝えなければならないのでしょう・・。

誰でも自分で決めたことならがんばれる

白井氏曰く、「自分の経験からいっても、もともと練習というものは、人から言われてやれるものではない」。

自分が学生時代「ポジション争いしている先輩よりも、絶対に早く切り上げたくなかった。その先輩より一分でも長くバットを振ろうとバットを振り続けた」。すると先輩も同じ思いのようで・・結局、二人で4,5時間も素振りをする事になったそうです。

「絶対に負けたくないという、強い信念とやる気をもったから、あんな超人的な事ができた」。しかも、その影響はチーム全体に広がったようです。

白井氏の著書を読んで・・一見、やる気のなさそうな社員でも縁があって同じ仲間として働くようになったのです。経営者（監督・コーチ）が彼らの個性・やる気を引き出す環境を作らなければ会社（チーム）は強くなりません。一方、当の社員さん自身もこの「会社に貢献するとの意思」をもってくれなければ会社は発展しません。

しかし、プロ野球の選手はもともと素材が一流、われわれの選手（社員）は平凡な素材です。私たちの目の前には、悩ましく、厳しい戦いが予想されます・・。

今月のことば

日本ではコーチングをティーチング、つまり教えることだと思っている。教える部分と、能力を引き出す部分（コーチング）の使い分けが出来ていない。

（白井　一幸）

編集後記：

つい先日、札幌市では観測史上（明治 9 年からの）最高の気温を記録しました。また、夏の全国高校野球は 23 日、決勝が行われ、神奈川の慶応高校が連覇を目指した宮城の仙台育英高校に勝って優勝しました。慶応高校の優勝は大正時代の第 2 回大会以来、107 年ぶり 2 回目です。大谷選手のベーブルース（大正～昭和 10 年）超えなど 100 年レベル快挙が続きます。なにやら・・記録づくめの時代を私たちは経験しています（寿）。

佐藤寿志税理士事務所　006-0023　札幌市手稲区手稲本町 3 条 1 丁目 1 番 1 号　TEL (011) 699-5925